

下関西高等学校 進路だより

令和5年10月号 進路指導部

～総合型選抜・学校推薦型選抜試験が始まる～

一気に温度が下がり体調管理が難しい時期となりました。夜更かしなどを避け、体調管理を心がけてください。特に3年生は受験に向けて十分な準備ができるように努めてください。

さて、今年度もいよいよ総合型選抜を皮切りに大学入学者選抜が始まりました。3年生は十分な準備を進めていると思いますが、大学入試改革の一環でこの3年間ぐらいで増えてきた選抜方法が個人面接です。昨年度もこの時期に進路だよりで伝えましたが、面接試験において重要なポイントである**身だしなみ**について、再度おさえておきたいと思います。また、コロナの5類感染症移行後、大学や進路関係業者の来客が増えましたが、君たちの**身だしなみ**や**挨拶の様子**などで学校全体がその都度、評価されていることを理解していますか？例えば、服装が乱れている生徒や目が合っても挨拶できない生徒とお客さんが出会ったら、その瞬間に西高生全員に対する評価が下がります。その事を十分に理解して、外部の方から信頼される行動をとって欲しいと思います。よろしくお祈りします。

<面接試験に臨む姿勢> 大切なのは第一印象！

①服装やヘアスタイルに気を配る。キーワードは清潔感

- ・女子のスカート丈は膝が前後とも完全に隠れるようにする。
- ・短く、派手な色柄の靴下をはいていかないようにする。
- ・髪型を清楚なものにする。
- 男子：耳やえりにかからない、襟足をそろえる、ツンツン立たせない。
- 女子：眉にかからない、耳を出す、長い場合は黒色のゴムでまとめる。
- ・爪をきちんと切っているか前日までに確認する。

②面接試験は控え室から始まっている。

- ・姿勢を正して静かに待つことが大切だが、できるだけリラックスして。

③面接室に入る時は必ず軽くノックする。

- ・順番がきて名前を呼ばれたら、はっきりと返事して面接室へ入室する。

④おじぎをきちんとする。

- ・**会釈**は背筋を伸ばし、首を曲げずに上体を15度の角度で傾け、視線は足元から1.5m先を見るようにする、**普通礼**は普通一般の挨拶の時にする。背筋を伸ばし、首を曲げずに上体を30度の角度で傾け、視線は足元から1m先を見るようにする。
- ・ドアを閉めたら、試験官の方へ向き直り、気をつけの姿勢で試験官の方を見てから会釈をする。
- ・手は、指先を伸ばし、指のあいだが離れないように気をつける。手の位置は体のわきにおく。
- ・礼は、男子は気をつけのままの状態のまま腰から曲げる。女子は体を曲げると同時に、両手を体にそってすべらせて両手を前のもものあたりにくるようにする。
- ・礼が終わったら、もう一度試験官の方へ視線をもどし、気をつけの姿勢をとってから椅子へ向かって歩き出す。そして、受験生用のいすの左側に立つ。

⑤着席の仕方と視線に注意する。

- ・指示にしたがい受験番号、名前などを、ハキハキとした口調で名乗る。

⑥いすの正しいかけ方とマナーを身につける。

- ・男子は足の間隔を20cm程度、女子はかかとひざをつけて座る。
- ・手の位置は指先までそろえて伸ばし、ももの上に置くか、前で軽く組むようにする。
- ・かかともつま先も揃える。
- ・椅子には腰を奥まで深くかけ背筋を伸ばす。背もたれにもたれたり、足を前に出したりしない。
- ・相手の目をまっすぐに見る。あごを引いて背筋を伸ばす。

(裏面につづく)

・口調や言葉遣いに注意する。例えば、語尾を上げて伸ばす口調などは慎む。

⑦終わったときのマナーと退室の仕方も重要。

- ・質問が終わって「はい、結構です」などと言われたら、いすの左側に立ち、いすをもとの位置に戻して「ありがとうございました」とお礼をいい、普通礼をする。
- ・退室の時もドアの所まで行き、面接官の方に向き直り、姿勢を正して「失礼します」といって会釈をする。

姿勢については以上ですが、面接試験の評価ポイントについて、多くは以下の4点が評価の対象になっていると思われます。受験の際にはしっかりと確認しておいてください。

①頭髪や服装はきちんとしているかなどの「**身だしなみ**」

②はっきりと話せ、正しい言葉づかいができるか、自分の意見を明確に表現できるかの「**表現力**」

③人の言うことを正しく理解し、判断できるかなどの「**理解力・判断力**」

④与えられた課題についてきちんと考え、説得力がある発言ができたかなどの「**思考力**」

さて、次に**挨拶**についてですが、以前、出会った高校生達の素敵な挨拶に感動した話を伝えたいと思います。私がお世話になっている先生に新潟県立長岡高等学校の山崎健太先生という物理の先生がいらっしゃいますが、先生が以前、ご勤務されていた新潟県立国際情報高等学校（KJ）を訪問した時の話です。この学校は校名の通り、地域の課題をグローバルの視点で考える活動に熱心で、国内の大学にとどまらず、海外の高等教育機関への進学希望に伝えるため、「海外大学進学コース」が設置され、北アメリカ、オーストラリア、ヨーロッパ等の大学で学んでいる卒業生が多くいる高校ですが、10年前、国際情報高校を訪問した時、大きな衝撃を受けました。それは、放課後、1人で校内見学をさせてもらったのですが、**出会った生徒の全てが私の顔を見た瞬間に、立ち止まり、手を止めて、ニコッと笑顔で「こんにちは！」と自然な振る舞いで挨拶をしてくれたのです。**私は今まで関わった生徒達に普段から来客に対して爽やかに挨拶しようと指導してきたつもりでしたが、挨拶のレベルが全然違うと感じました。しかも、日本アルプスの山間にあり多くの生徒が上越新幹線で通学するとても不便な場所にある高校でしたが、生徒はぎりぎりまで学校に残り真剣な眼差しで自学自習に励んでいて、その姿勢にもとても感動しました。西高生も毎日、遅くまで熱心に学校に残って旭陵館で自学自習に取り組んでいる生徒が多くいますし、帰り際に爽やかに挨拶をしてくれる生徒もいますが、西高生の挨拶力には伸びしろがまだまだあると思っています。期待しています。



(進路指導部・松村)